

新・新潟市環境基本計画策定のための アンケート結果報告書

平成26年9月

新潟市環境部環境政策課

目 次

I 調査の概要

1 目 的	1
2 調査方法	1
3 回収結果	1
4 表の見方	1

II 調査結果

問1 性別	2
問2 年齢	2
問3 居住区	2
問4 居住地区の形態	2
問5 身近な環境への満足度	3
問6 住まいの周辺環境で非常に良い点	4
問6 住まいの周辺環境で非常に悪い点	4
問7 環境課題の優先度	5
問7 環境課題への改善傾向又は対策への評価	6
問8 環境諸問題に取り組むべき主体	7
問9 環境保全行動への取り組み状況	8
問9 「いいえ」の理由	9
問10 環境保全と生活について	10
問10 環境保全と生活について その他意見	10
問10 環境保全と生活について その他意見の内訳	11
問11 将来の望ましい新潟市の環境像	12
問11 将来の望ましい新潟市の環境像(区別比較)	13
問11 将来の望ましい新潟市の環境像(年齢別比較)	15
問11 将来の望ましい新潟市の環境像 その他意見の内訳	16
問12 将来に残したい環境	17

III 前回調査結果との比較等	18
-----------------------	----

I 調査の概要

1 調査の目的

新潟市は、新潟市環境基本条例第9条の規定に基づき、新潟市環境基本計画(平成19年3月)を策定し、環境に関わる施策を総合的かつ計画的に推進してきました。計画策定後、7年を経たことから、社会的変化に対応するため新・新潟市環境基本計画を策定することにいたしました。新・新潟市環境基本計画を定めるにあたり、市民の意見を反映するため、アンケート調査を行い、意見をとりまとめ、計画策定に資することを目的としています。

2 調査方法

- (1) 調査地域 新潟市全域
- (2) 調査対象 新潟市住民基本台帳に登録されている満18歳以上の男女個人
- (3) 標本数 1500人
- (4) 抽出方法 無作為抽出とし、区ごとに対象者数を定数配分
- (5) 調査方法 郵送法(はがきによる督促1回)
- (6) 調査時期 平成26年6月5日(木)～平成26年8月4日(月)

3 回収結果

標本数	回収件数	回収率(%)	備考
1500人	845人	56%	—

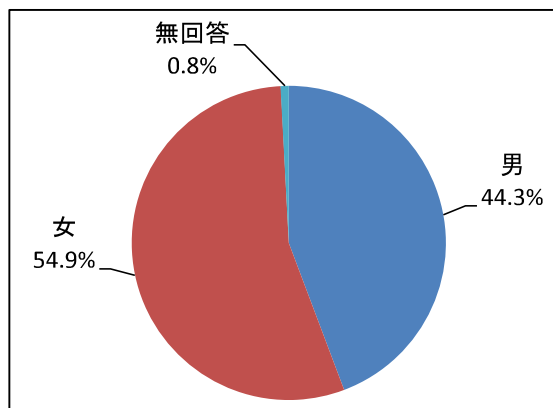
4 報告書の見方

報告書中のグラフ・表の見方については、以下のとおりです。

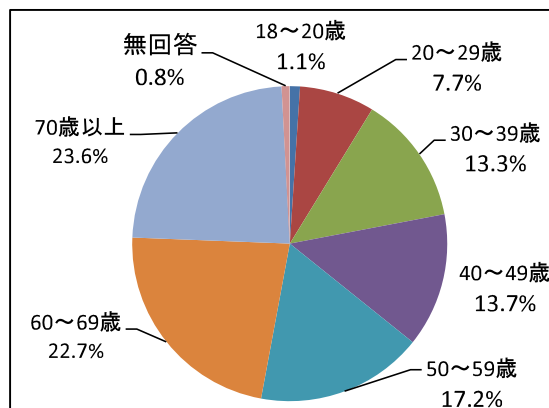
- ① 集計結果の数値(%)は、単位未満を四捨五入しており、回答比率の合計が100.0%にならないことがあります。
- ② グラフ・表中の比率(%)は、未回答数を含めた比率を算出し、無回答比率を記載してあります。無回答比率の記載がないものは、それぞれの集計項目の無回答数を除外した合計を分母として回答比率を算出しています。
- ③ 複数回答形式の設問の場合、回答比率の合計は、100%を超えることになります。
- ④ グラフ及び表中の「N=」とは、集計対象者総数を表しています。
- ⑤ 回答選択肢は、本文中または図表中において意味を損なわない範囲で簡略化したものがあります。
- ⑥ 文書による回答の場合、集計において意味を損なわない範囲で簡略化又は分類化したものがあります。

II 調査結果

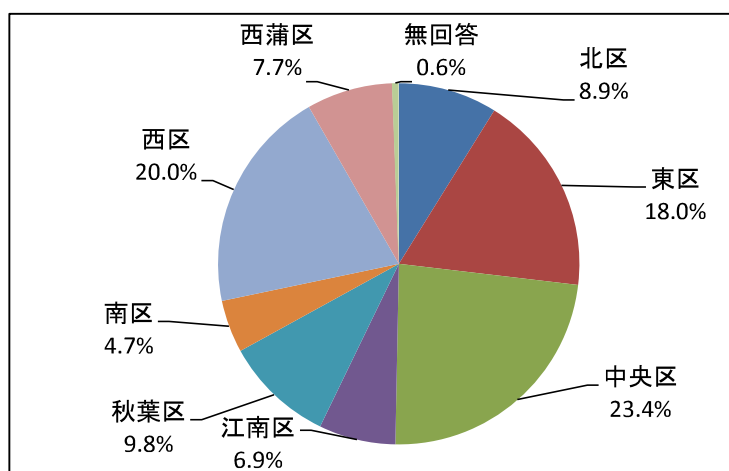
問1 性別(N=845)



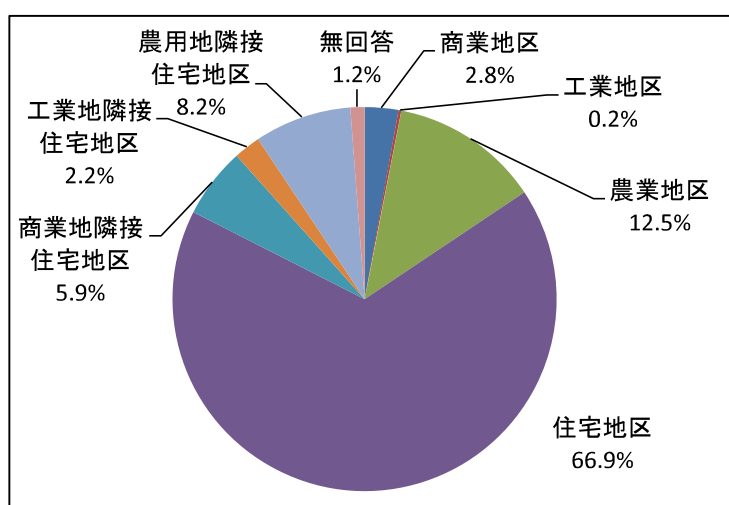
問2 年齢 (N=845)



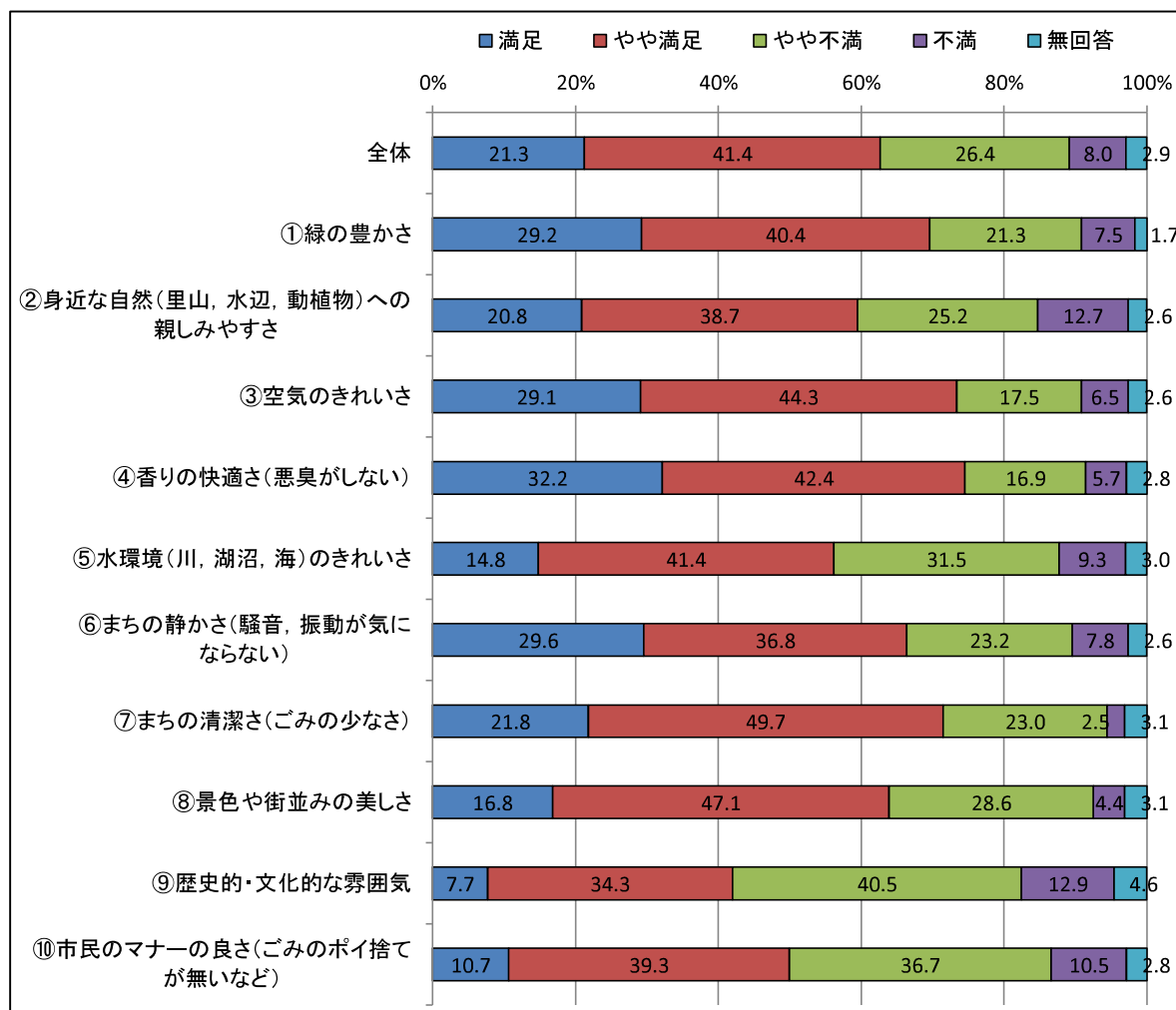
問3 居住区(N=845)



問4 居住地区の形態(N=845)



問5 身近な環境への満足度(N=845)



◆今回【上位】

- ① 香りの快適さ (74.6%)
- ② 空気のきれいさ (73.4%)
- ③ まちの清潔さ (71.5%)

◇前回【上位】

- ① 空気のきれいさ (72.6%)
- ② においのきれいさ (香りの快適さ) (66.7%)
- ③ 緑の豊かさ (66.6%)

◆今回【下位】

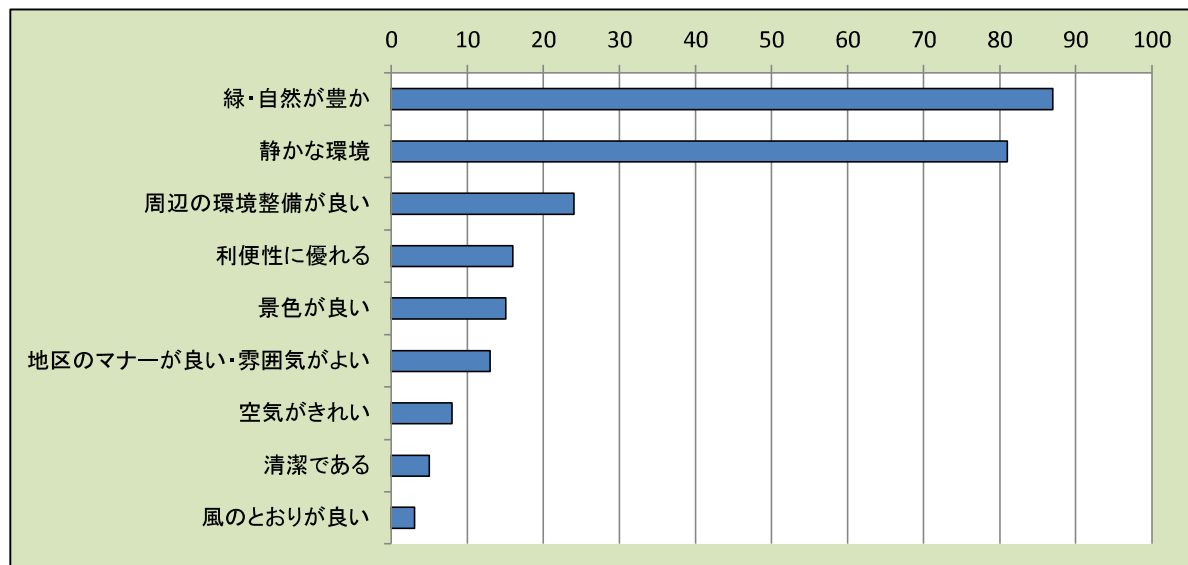
- ① 歴史的・文化的な雰囲気 (42.0%)
- ② 市民のマナーの良さ (50.0%)
- ③ 水環境のきれいさ (56.2%)

◇前回【下位】

- ① 市民マナーの良さ (39%)
- ② 歴史・文化的な雰囲気 (44.1%)
- ③ 水環境のきれいさ (47.8%)

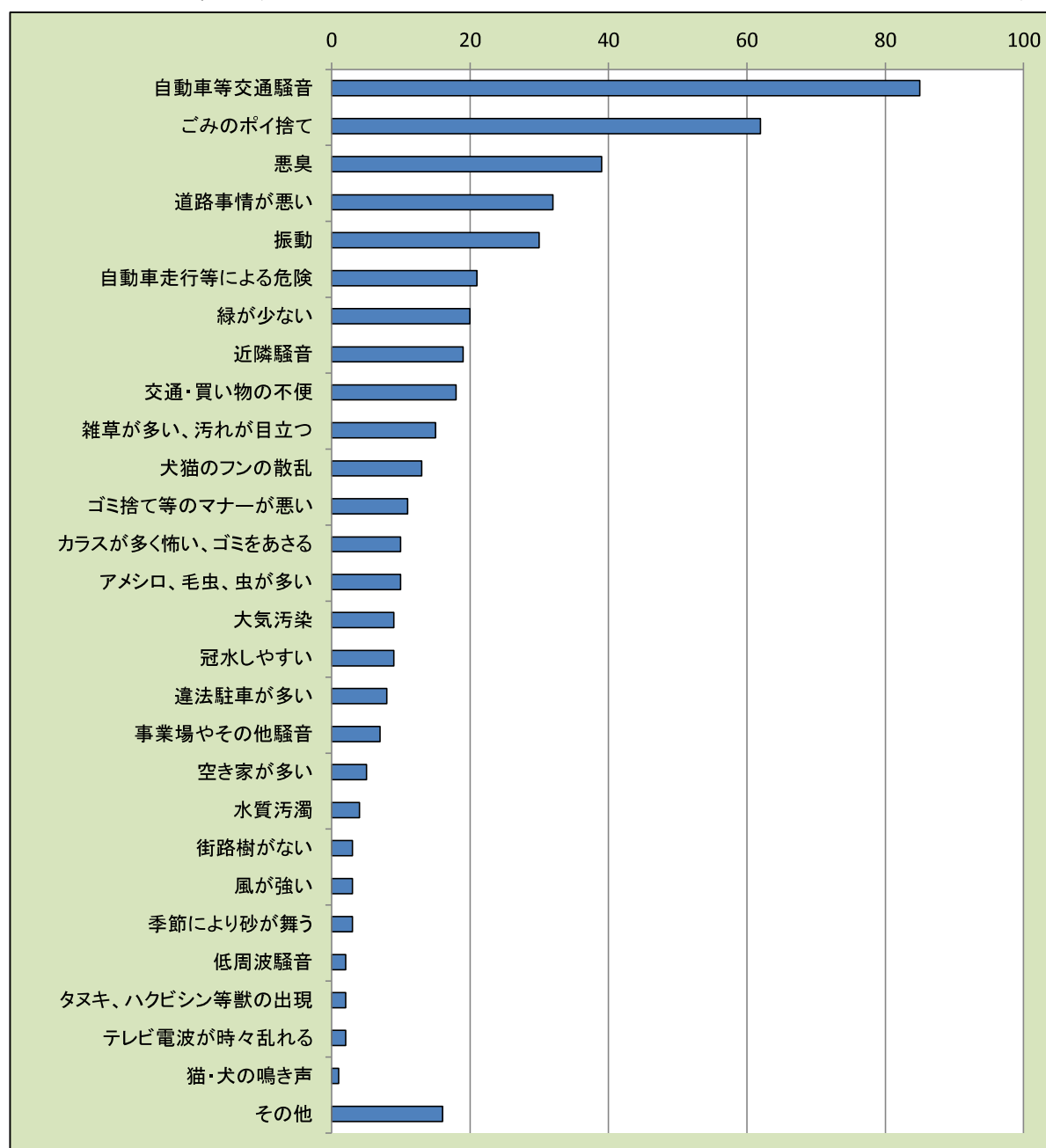
問6 住まいの周辺環境で非常に良い点(N=845)

(回答数)

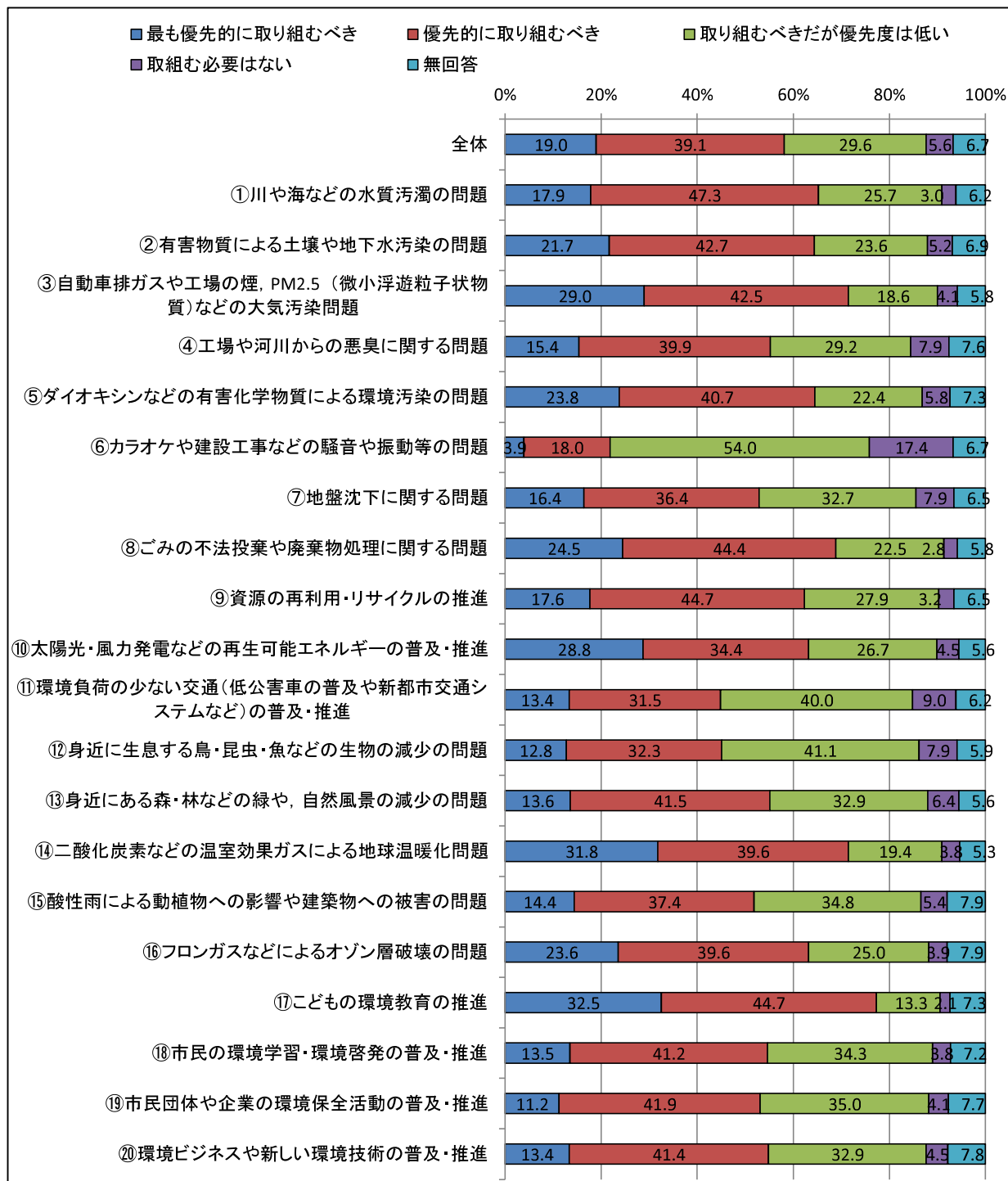


問6 住まいの周辺環境で非常に悪い点(N=845)

(回答数)



問7 環境課題の優先度 (N=845)



◆今回【上位】

- ① こどもの環境教育の推進 (77.2%)
- ② 大気汚染問題 (71.5%)
- ③ 地球温暖化問題 (71.4%)
- ④ 不法投棄・廃棄物処理の問題 (68.9%)
- ⑤ 水質汚濁 (65.2%)

◆今回【下位】

- ① 騒音・振動問題 (21.9%)
- ② 環境負荷少ない交通の普及・推進 (44.9%)
- ③ 身近な鳥・昆虫・魚減少 (45.1%)
- ④ 酸性雨被害の問題 (51.8%)
- ⑤ 地盤沈下問題 (52.8%)

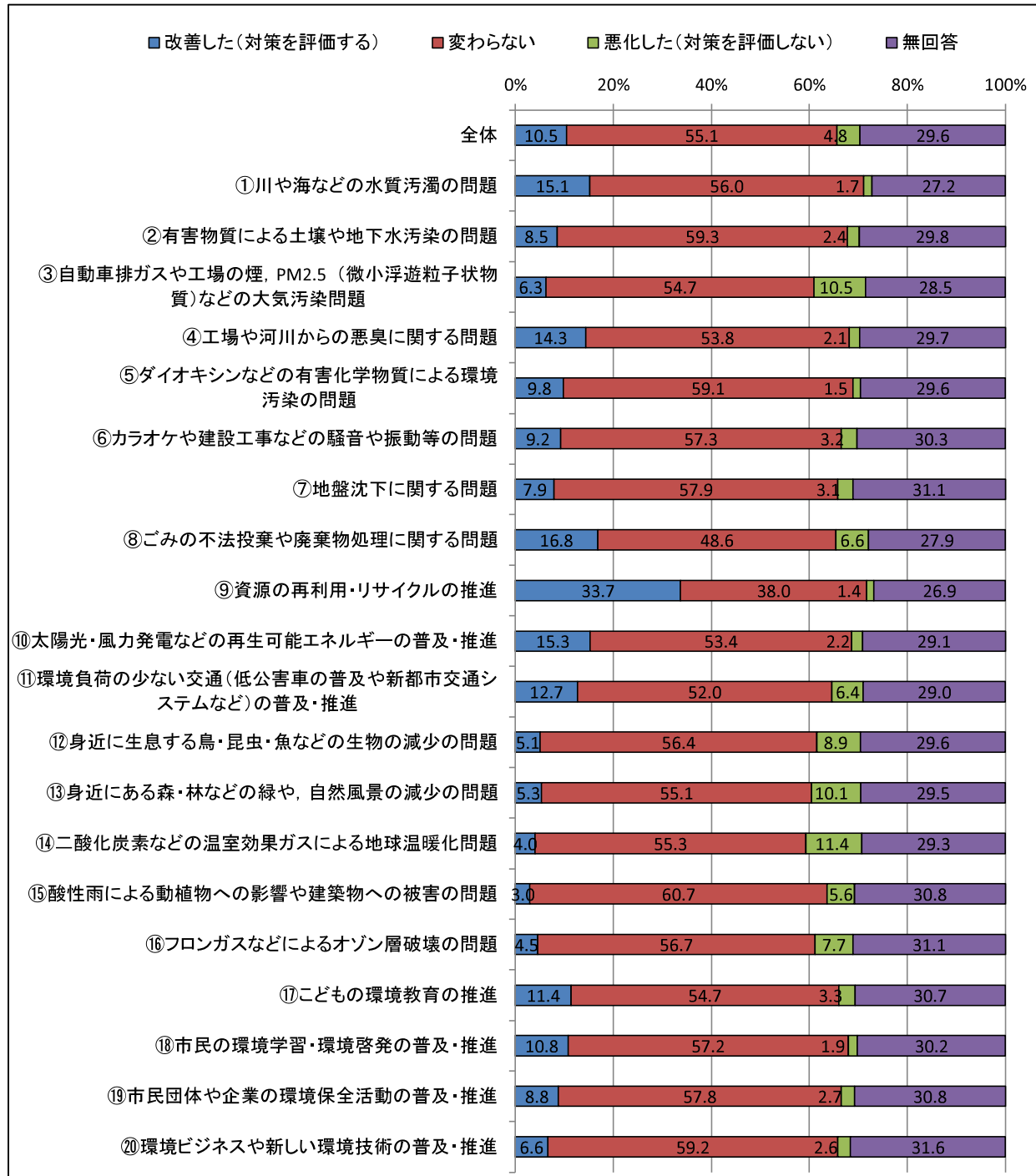
◇前回【上位】

- ① こどもの環境教育の推進 (77.5%)
- ② 不法投棄・廃棄物処理の問題 (77.1%)
- ③ 資源の再利用の推進 (75.5%)
- ④ 水質汚濁 (71.9%)
- ⑤ 地球温暖化問題 (71.5%)

◇前回【下位】

- ① 騒音・振動問題 (29.2%)
- ② 環境ビジネス・技術の普及・推進 (39.5%)
- ③ 身近な鳥・昆虫・魚減少 (40.5%)
- ④ 太陽光など自然エネルギー普及・促進 (53.7%)
- ⑤ 市民団体や企業の環境保全活動の推進 (53.7%)

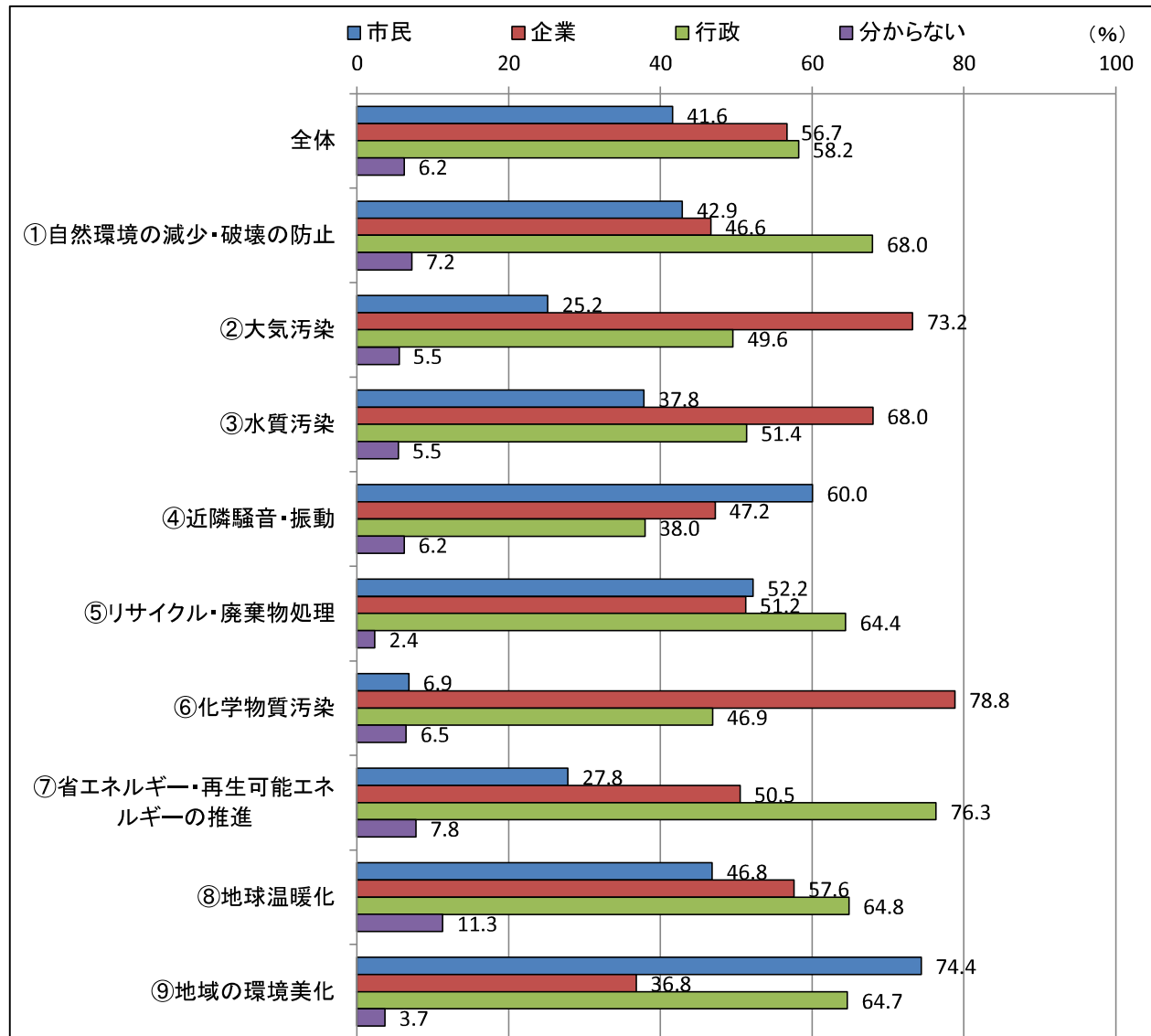
問7 環境課題への改善傾向又は対策への評価(N=845)



【上位】

- 改善した
(対策を評価する)
- ① 資源の再利用・リサイクルの推進 (33.7%)
 - ② ごみの不法投棄や廃棄物処理に関する問題 (16.8%)
 - ③ 太陽光・風力発電などの再生可能エネルギーの普及・推進 (15.3%)
- 変わらない
- ① 酸性雨のよる動植物への影響や建築物への被害の問題 (60.7%)
 - ② 有害物質による土壌や地下水汚染の問題 (59.3%)
 - ③ 環境ビジネスや新しい環境技術の普及・推進 (59.2%)
- 悪化した
(対策を評価しない)
- ① 二酸化炭素などの温室効果ガスによる地球温暖化問題 (11.4%)
 - ② 自動車排ガスや工場の煙、PM2.5などの大気汚染問題 (10.5%)
 - ③ 身近にある森・林などの緑や、自然風景の減少の問題 (10.1%)

問8 環境諸問題に取り組むべき主体(N=798～812)



◆今回【市民上位】

- ① 地域の環境美化 (74.4%)
- ② 近隣騒音・振動 (60.0%)
- ③ リサイクル・廃棄物処理 (52.2%)

◆今回【市民下位】

- ① 化学物質汚染 (6.9%)
- ② 大気汚染 (25.2%)
- ③ 省エネ・再生可能エネルギーの推進 (27.8%)

◆今回【企業上位】

- ① 化学物質汚染 (78.8%)
- ② 大気汚染 (73.2%)
- ③ 水質汚染 (68.0%)

◆今回【企業下位】

- ① 地域の環境美化 (36.8%)
- ② 自然環境の減少・破壊の防止 (46.6%)
- ③ 近隣騒音・振動 (47.2%)

◆今回【行政上位】

- ① 省エネ・再生可能エネルギーの推進 (76.3%)
- ② 自然環境の減少・破壊の防止 (68.0%)
- ③ 地球温暖化対策 (64.8%)

◆今回【行政下位】

- ① 近隣騒音・振動 (38.0%)
- ② 化学物質汚染 (46.9%)
- ③ 大気汚染 (49.6%)

◇前回【市民上位】

- ① 地域の環境美化 (74.8%)
- ② 近隣騒音・振動 (54.7%)
- ③ リサイクル・廃棄物処理 (53.1%)

◇前回【市民下位】

- ① 化学物質汚染 (6.4%)
- ② 大気汚染 (22.9%)
- ③ 省エネ・自然エネルギーの推進 (38.6%)

◇前回【企業上位】

- ① 化学物質汚染 (78.1%)
- ② 大気汚染 (73.0%)
- ③ 水質汚染 (66.5%)

◇前回【企業下位】

- ① 地域の環境美化 (29.3%)
- ② 省エネ・自然エネルギーの推進 (43.6%)
- ③ 自然環境の減少・破壊の防止 (44.2%)

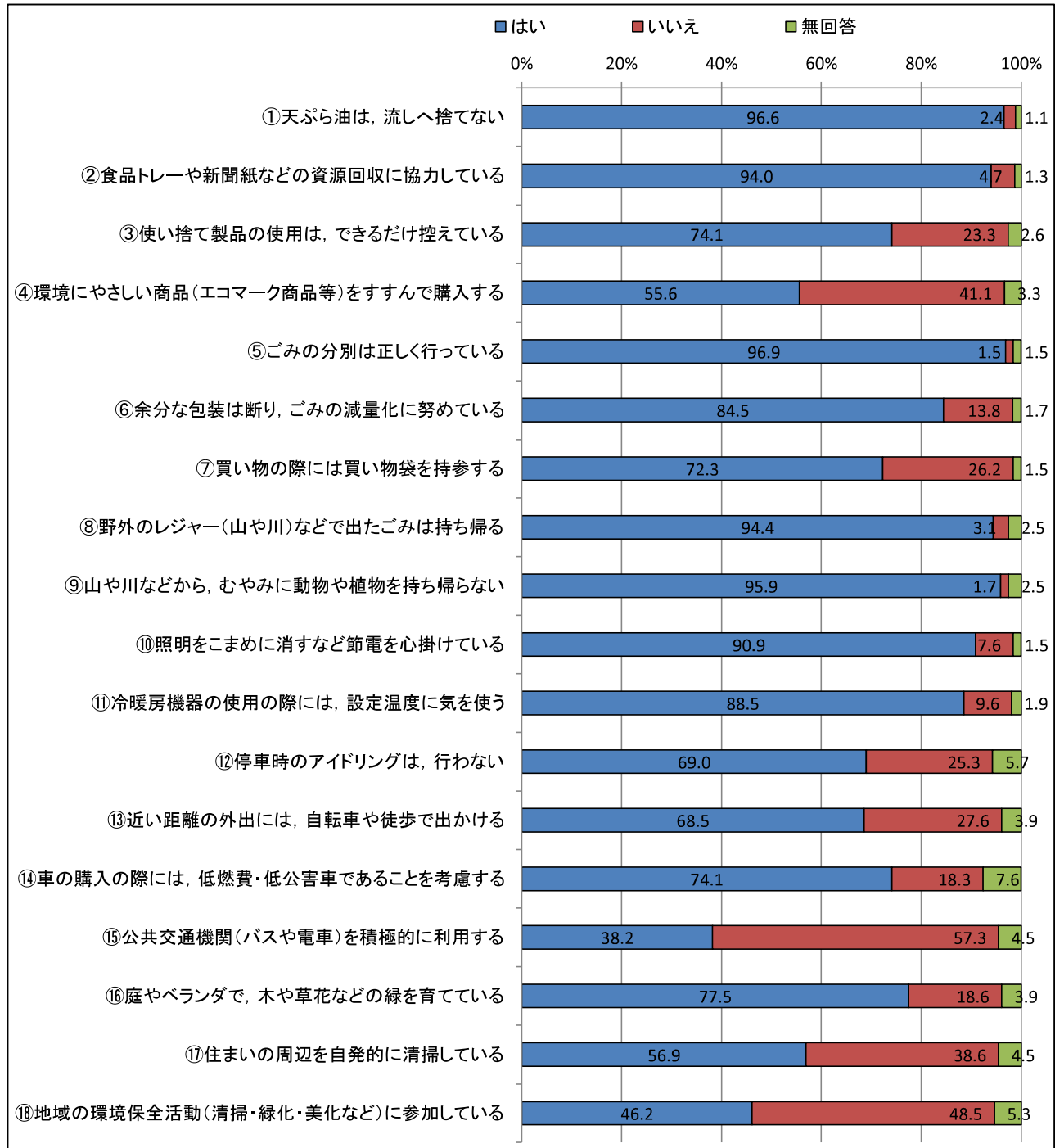
◇前回【行政上位】

- ① 自然環境の減少・破壊の防止 (65.4%)
- ② 省エネ・自然エネルギーの推進 (65.0%)
- ③ 地球温暖化対策 (63.8%)

◇前回【行政下位】

- ① 近隣騒音・振動 (34.2%)
- ② 化学物質汚染 (41.4%)
- ③ 水質汚染 (43.6%)

問9 環境保全行動への取組み状況(N=845)



◆今回【上位】

- ① ごみの分別 (96.9%)
- ② 天ぷら油は流しに捨てない (96.6%)
- ③ 山や川から動植物を持ち帰らない (95.9%)
- ④ 野外レジャーのごみは持ち帰る (94.4%)
- ⑤ 新聞紙などの資源回収に協力している (94.0%)

◆今回【下位】

- ① 公共交通機関の積極的利用 (38.2%)
- ② 地域の環境保全活動への参加 (46.2%)
- ③ エコマーク商品の購入 (55.6%)
- ④ 住まい周辺の自発的清掃 (56.9%)
- ⑤ 近距離外出は自転車や徒歩 (68.5%)

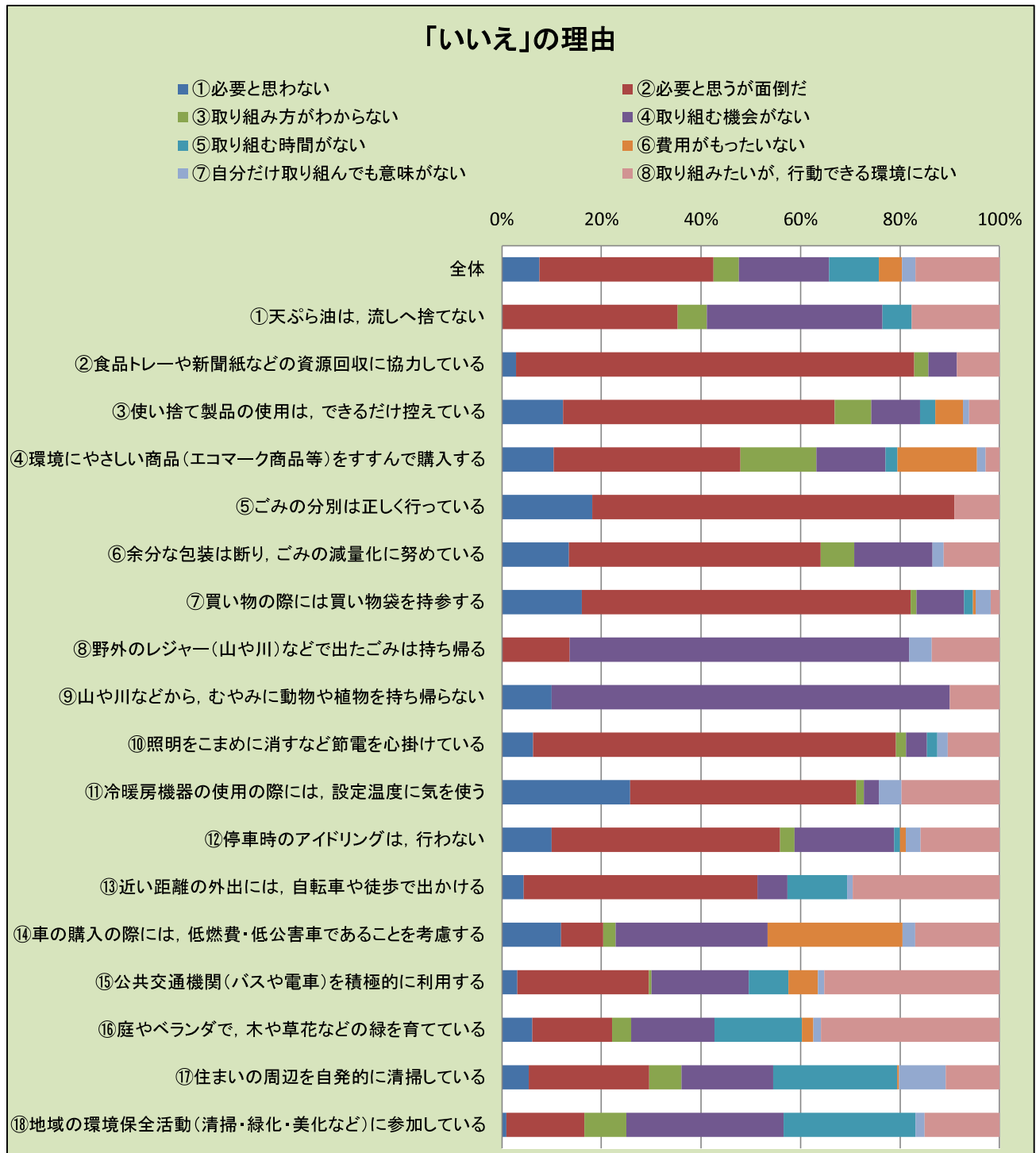
◇前回【上位】

- ① ごみの分別 (96.3%)
- ② 天ぷら油は流しに捨てない (95.7%)
- ③ 山や川から動植物を持ち帰らない (93.6%)
- ④ 野外レジャーのごみは持ち帰る (92.5%)
- ⑤ 新聞紙などの資源回収に協力している (87.7%)

◇前回【下位】

- ① 買い物袋の持参 (26.4%)
- ② 公共交通機関の積極的利用 (33.6%)
- ③ 地域の環境保全活動への参加 (47.8%)
- ④ エコマーク商品の購入 (52.2%)
- ⑤ 住まい周辺の自発的清掃 (59.4%)

問9 「いいえ」の理由



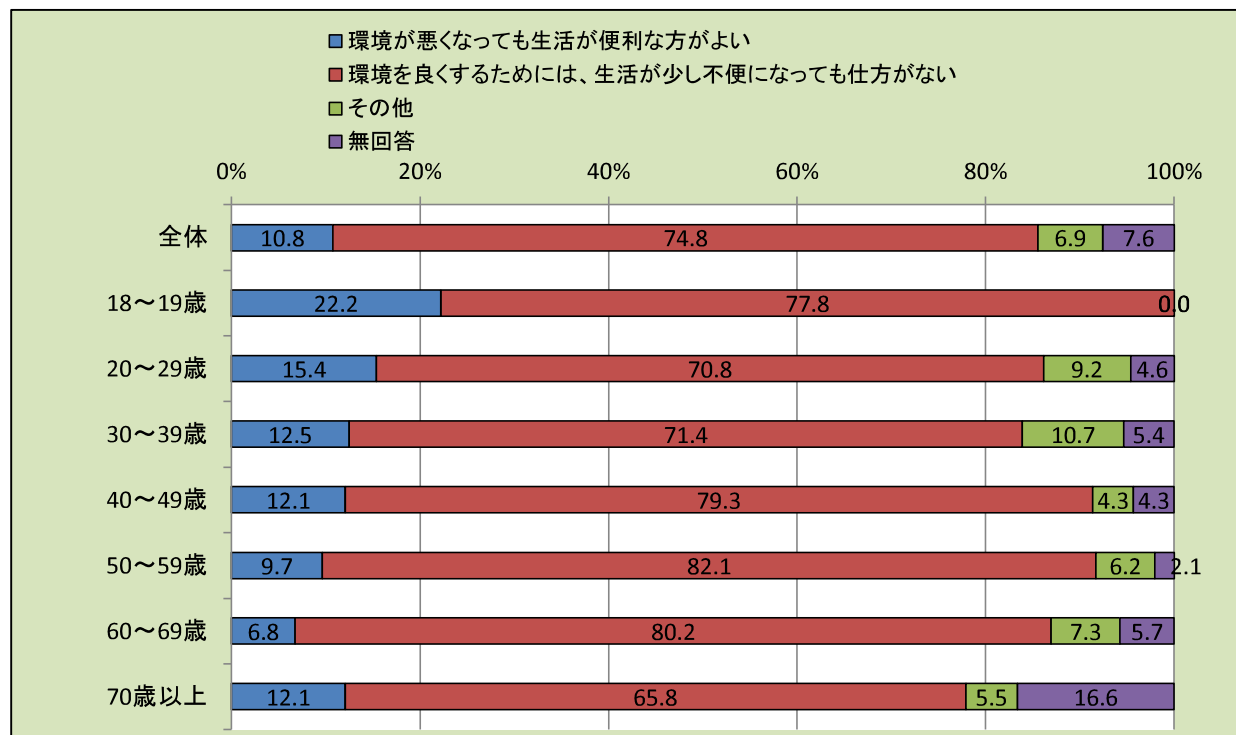
【上位】

- ① 必要と思うが面倒 （35.0%）
- ② 取り組む機会がない （18.1%）
- ③ 取り組みたいが行動できる環境にない （16.9%）

【下位】

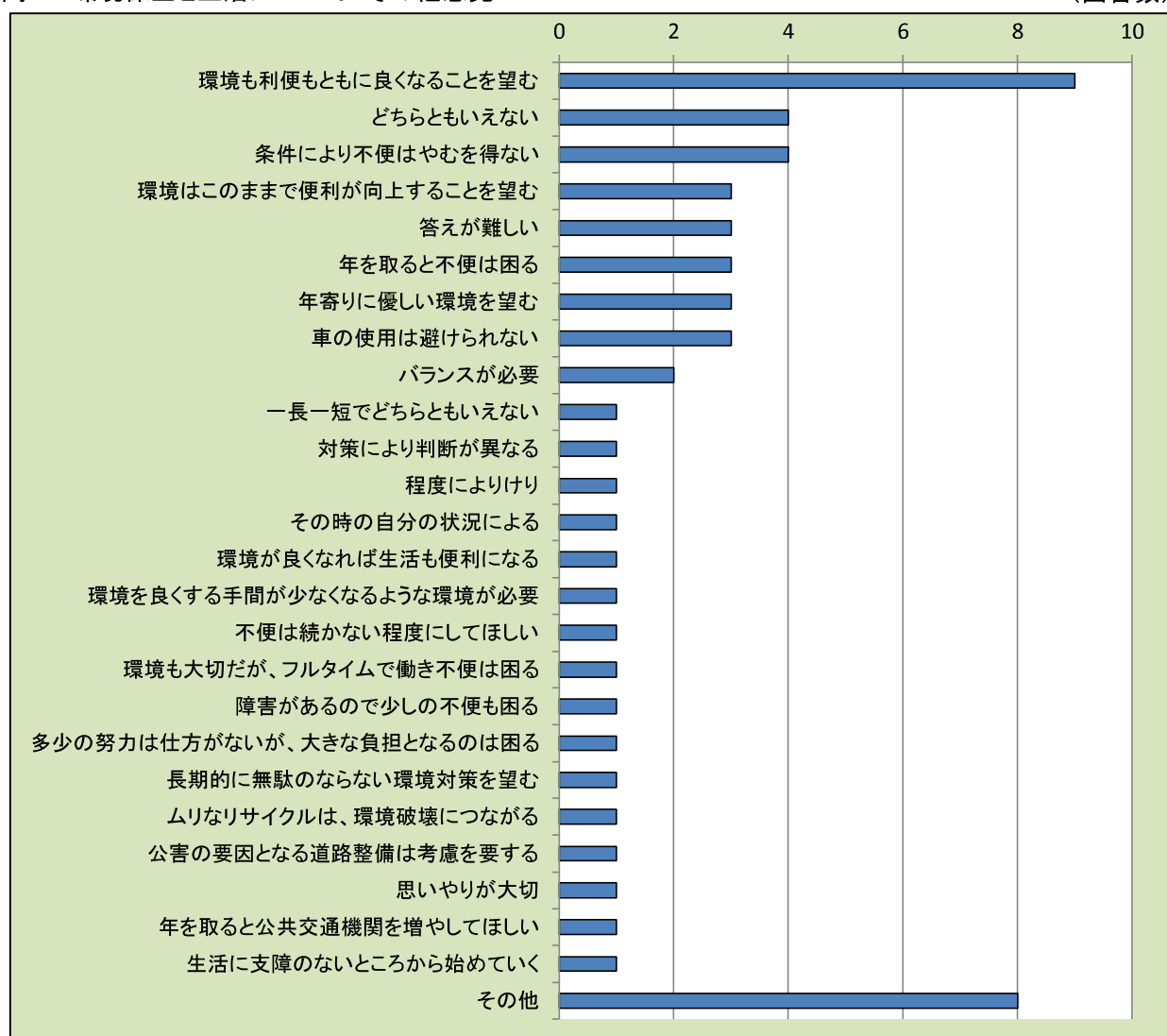
- ① 自分だけ取り組んでも意味がない （2.7%）
- ② 費用がもったいない （4.6%）
- ③ 取り組み方がわからない （5.1%）

問10 環境保全と生活について(N=845)



問10 環境保全と生活について その他意見

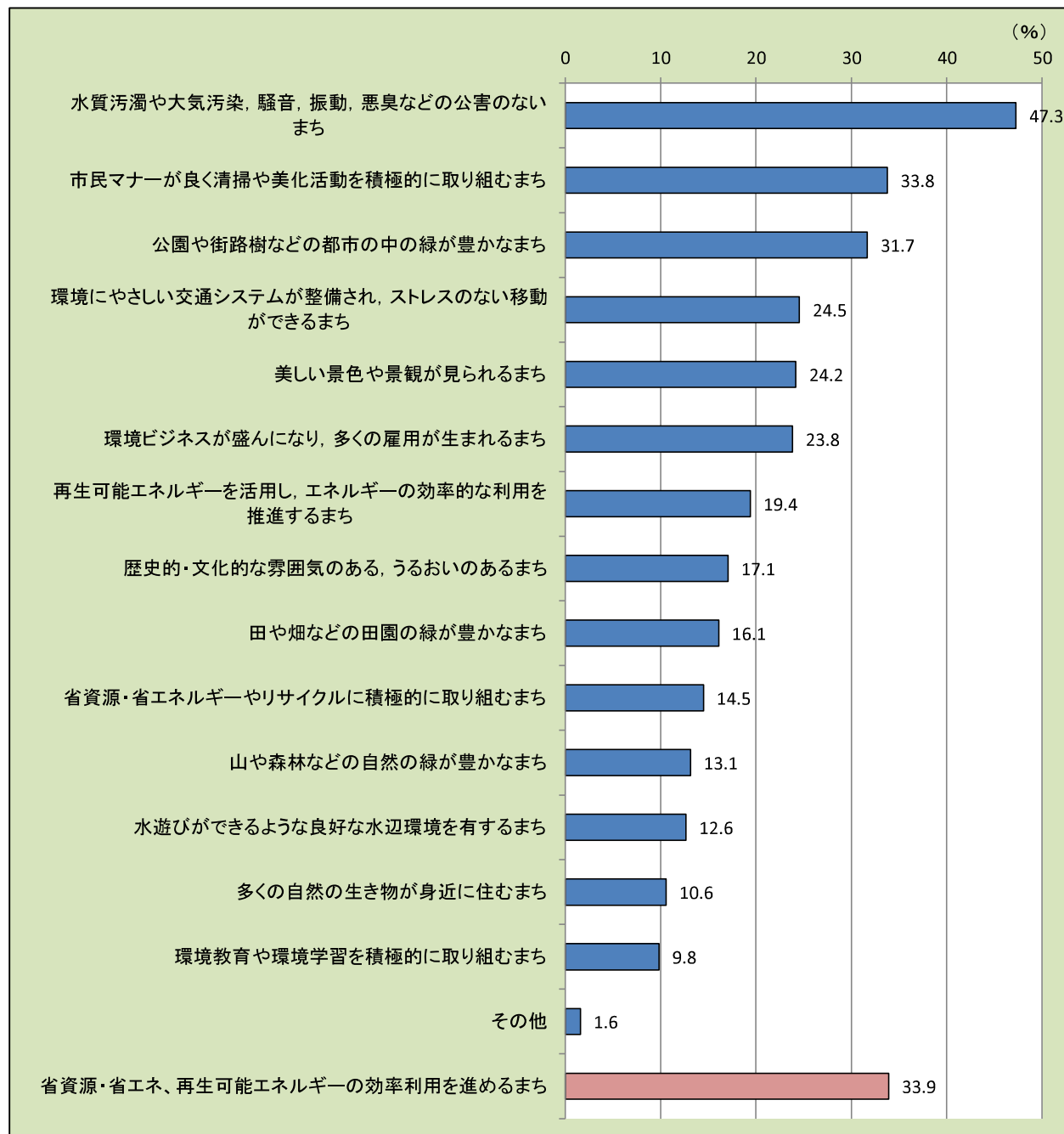
(回答数)



問10 環境保全と生活について その他意見の内訳

- ① 環境も利便も両者の向上を望む。
 - ・環境も生活もどちらも良い方向に進められると良い。(同様意見は以下を含め9件)
 - ・科学技術をもっと進めて環境も良くして生活も便利にする方が良い。
 - ・環境を良くし生活も不便にならないよう工夫して欲しい。
 - ・どちらも大切に薦めていただきたい。
 - ・環境も良くなり、生活も便利というのは成り立ちませんか。
- ② 環境水準は現状維持し、利便の向上を望む。
 - ・環境はそのまま、生活が便利になればよい。(同様意見は以下を含め3件)
 - ・生活が不便になると困るので今のままで良い。
- ③ 場合によりけりで、どちらとも言えない。
 - ・良くも悪くも一長一短でどちらともいえない。(同様意見は、以下の意見を含め13件)
 - ・もう少し具体的な内容でないと、この設問では答えられない。
 - ・両方のバランスが大事。
 - ・施行する対策により良悪はつけられない。
 - ・2(環境を良くするためには少しの不便も仕方がない。以下同じ)のほうがよいのですが、プラスα が生まれると少しの不便でも楽しくなるのでは。
 - ・少しの不便はどの程度のものか、許容できないのであれば、如何にその不便さを改善させるかを考えるべき(場合によりけり)
 - ・生活が不便だと感じない程度に環境を良くする対策に取り組むべき、生活が不便になると対策を行ったとしても長続きしないと思う。環境をとるか生活をとるかで考えるのは難しいのではないか。
- ④ 条件により不便さもやむを得ない。(以下の4件)
 - ・環境が良くなるのであれば生活は不便になってもよい。
 - ・抽象的でなく具体的な内容の中長期計画を立て、一般の人にも分かりやすい対策を講じてもらえれば多少の不便さもやむを得ないものと考えています。
 - ・環境を良くしなければ今後の生活に重大な支障をきたすのなら今の生活が多少不便になっても仕方がないと思う。
 - ・基本的には2ですが、費用が掛かるのはきびしいです。
- ⑤ ①～④以外の回答(21件)
 - ・環境が良くて便利なのが一番だが、良くするために手間にならずできるような環境が必要。
 - ・買い物には車が必用(同様意見はこれを含め3件)
 - ・無駄なサイクル環境整備は予算を使うだけ、整備してもメンテナンスがなく、かえって環境破壊につながっている。
 - ・年を取り公共交通を利用することが増えたので、回数を増やして便利にしてほしい。
 - ・環境改善は必要だがフルタイムで働き子育て中のため不便が生じることはありがたい。
 - ・年々年老いていくので不便になるのは耐えられない。生活は便利な方がいい。(同様意見はこれを含め3件)
 - ・あてはまるのは2だが不便が続けば誰かしら楽をしようしたり、ルールを破る人が出てくると思うので生活にそこまで影響のないことを望む。
 - ・大気汚染、気象の異常現象等を考えれば公害発生の要因となる自動車交通を優先とした道路整備については考慮を要するものとする。
 - ・年寄りに優しい環境であってほしいです。(同様意見はこれを含め3件)
 - ・身体に障害があるので生活が少し不便で困ります。
 - ・新潟市は冬場の風雪・雷雨が多く自家用車に頼りがちです。自家用車を持っているとたまにバスではかえって高くつきます。夫の退職後減車の予定ですが、あまり不便だと外出の回数を減らすと思います。もっと高齢になるときのことを考え、環境に配慮しつつ、便利な方が良いです。
 - ・其々あるだろうけど一人一人の思いやりが大切。
 - ・高齢者のやさしい町づくりをお願いします。
 - ・生活に支障のないところからはじめていく。
 - ・中長期にわたって無駄にならない環境対策をしてほしい。
 - ・環境が良くなれば生活も便利になると思う。
- ⑥ その他意見(要望・感想等8件)
 - ・50年前より不便になった。(バス、銀行)
 - ・高齢化が進んで環境も生活も不便です。行政の力で何とかしてもらいたい。
 - ・時間や経済面で取り組めない時もある。
 - ・ストレスを感じない生活環境が良い。
 - ・体に障害がある為障害を乗り越えることが環境を良くすることに繋がっていると思っています。
 - ・環境の第一歩は個人、個人がゴミを捨てない、地域環境を守る、家の周りをきれいにすることが大切です。
 - ・災害に強い新潟市。
 - ・不便になる理由がわからない。

問11 将来の望ましい新潟市の環境像(N=814)



◆今回【上位】

- ① 水質汚濁や大気汚染, 騒音, 振動, 悪臭などの公害のないまち (47.3%)
- ② 市民マナーが良く清掃や美化活動を積極的に取り組むまち (33.8%)
- ③ 公園や街路樹などの都市の中の緑が豊かなまち (31.7%)
- ④ 環境にやさしい交通システムが整備され, ストレスのない移動ができるまち (24.5%)
- ⑤ 美しい景色や景観が見られるまち (24.2%)

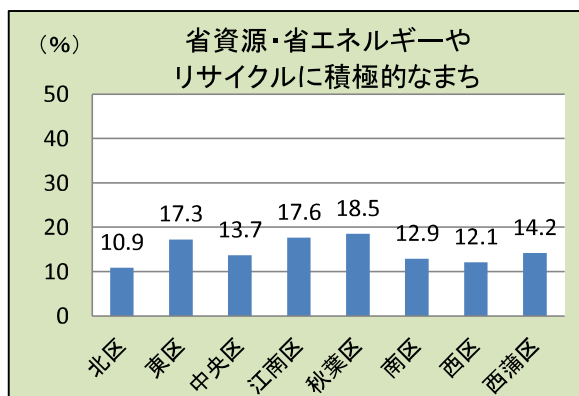
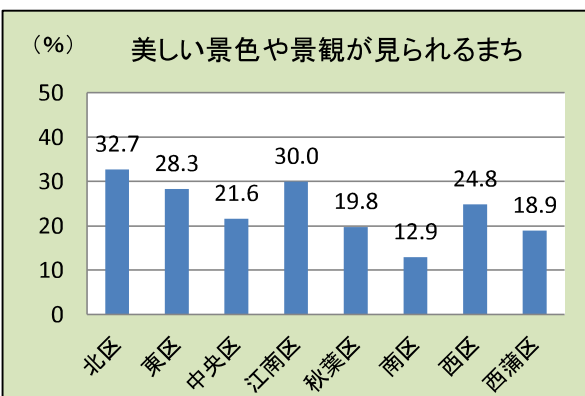
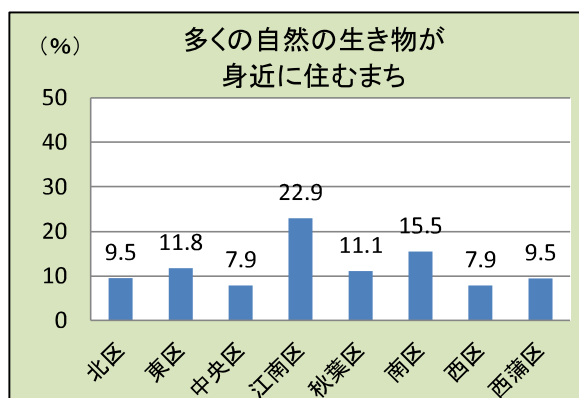
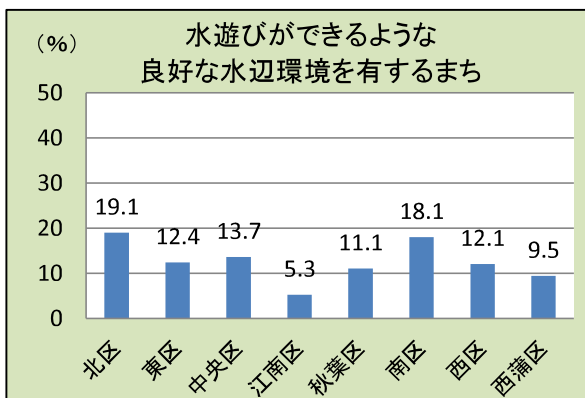
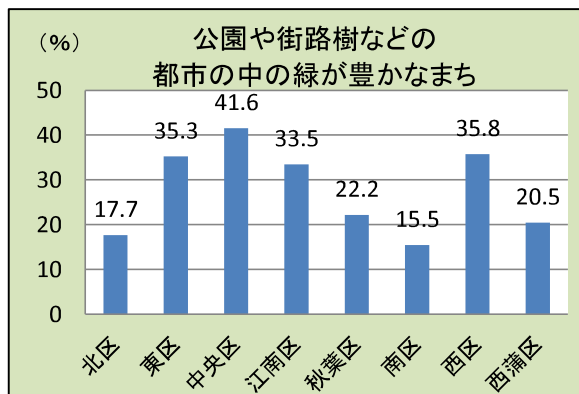
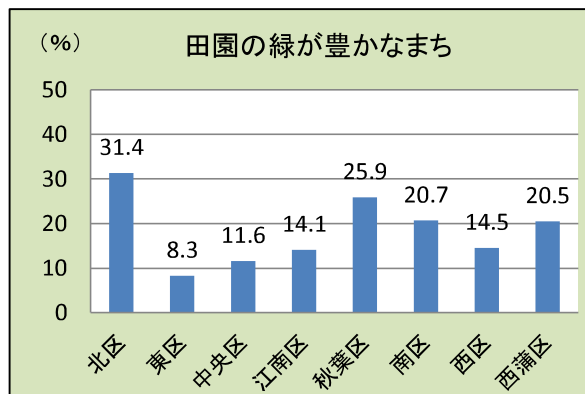
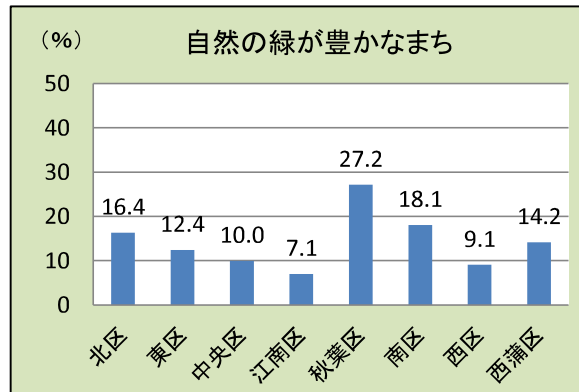
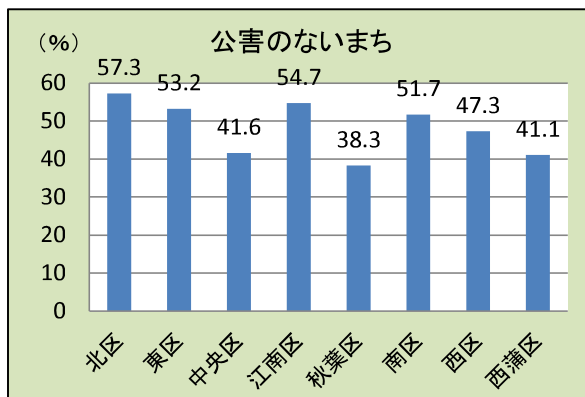
◇前回【上位】

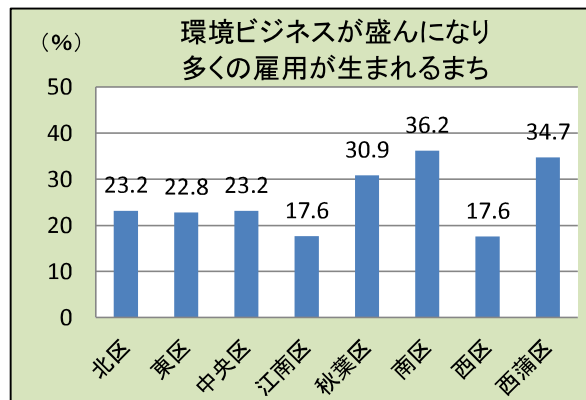
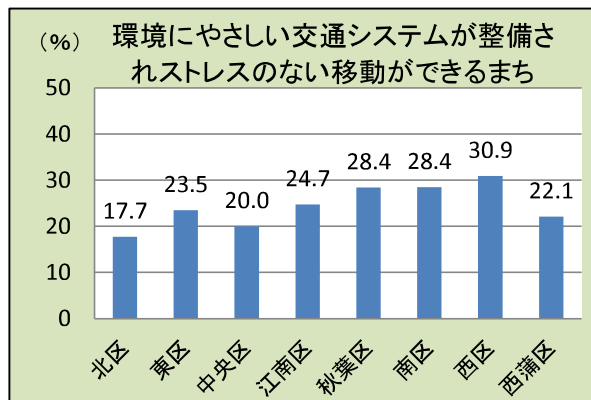
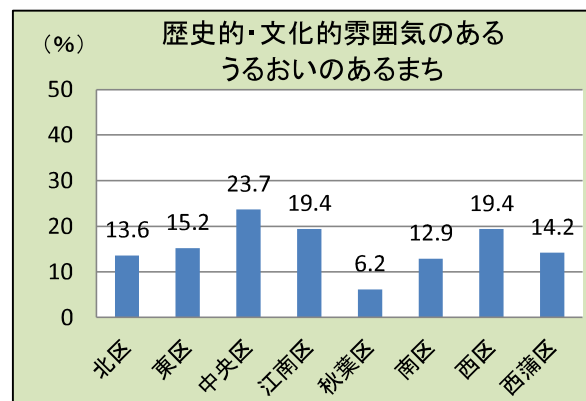
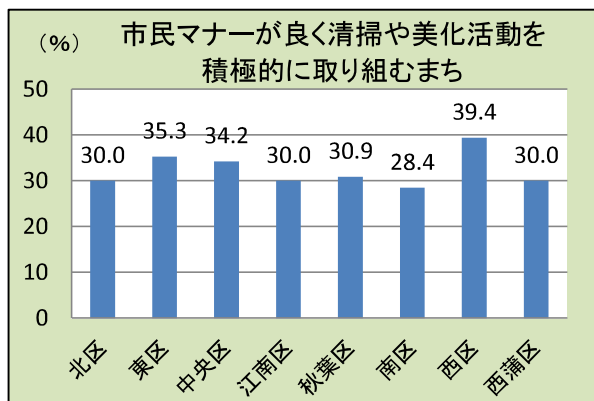
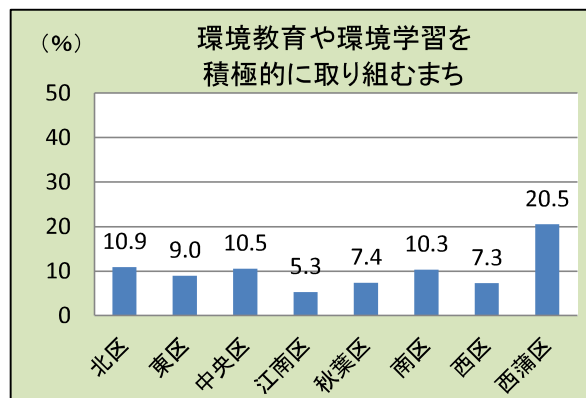
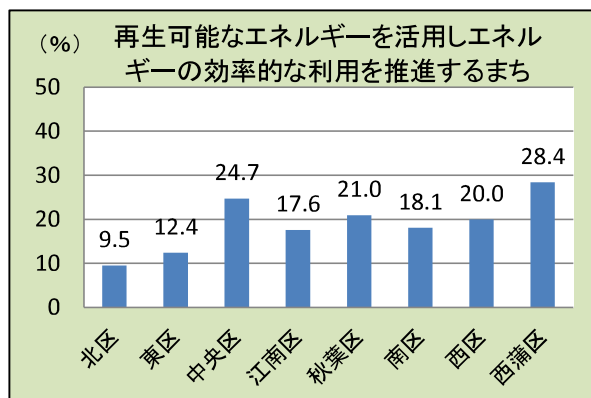
- ① 水質汚濁や大気汚染, 騒音, 振動, 悪臭などの公害のないまち (53.3%)
- ② 公園や街路樹などの都市の中の緑が豊かなまち (33.9%)
- ③ 市民マナーが良く清掃や美化活動を積極的に取り組むまち (30.3%)
- ④ 省資源や省エネルギー, 自然エネルギーの有効利用を積極的に取り入れるまち (26.3%)
- ⑤ 美しい景色や景観が見られるまち (25.7%)

前回4位の「省資源や省エネルギー, 自然エネルギーの有効利用を積極的に取り入れるまち」の設問を今回調査では、「省資源・省エネルギーやリサイクルに積極的に取り組むまち」と「再生可能エネルギー(自然エネルギー)を活用し, エネルギーの効率的な利用を推進するまち」に分けて設問した。

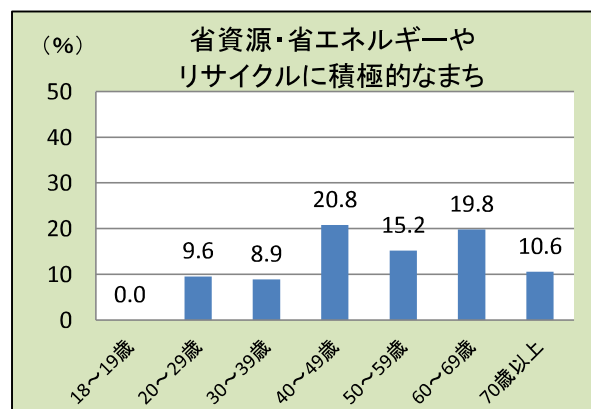
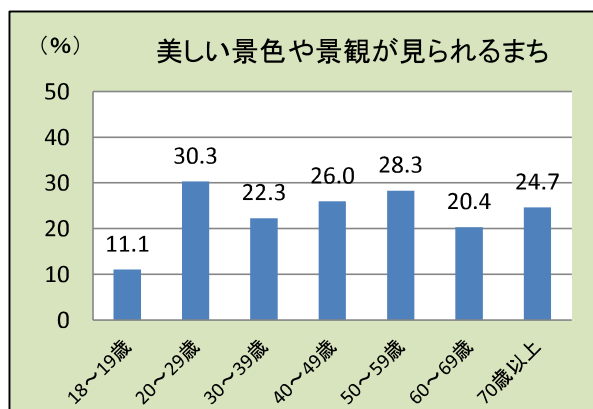
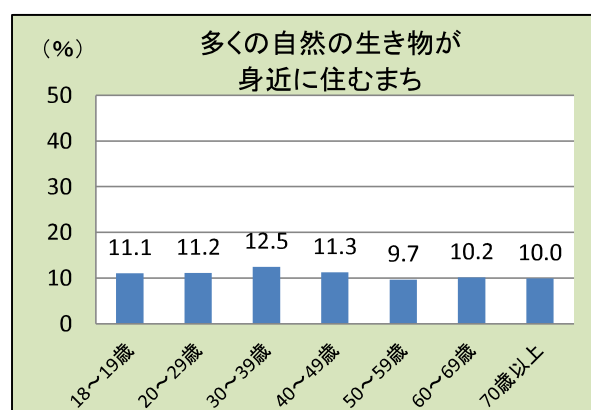
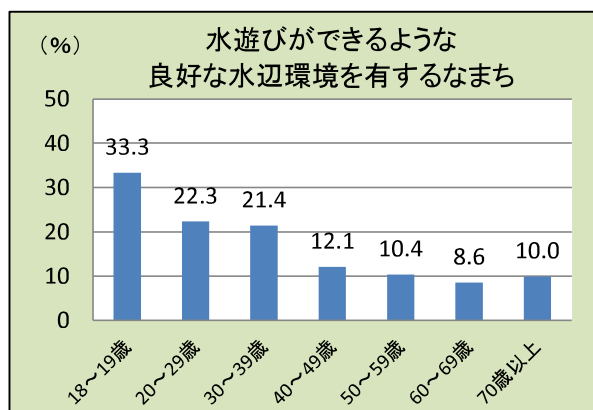
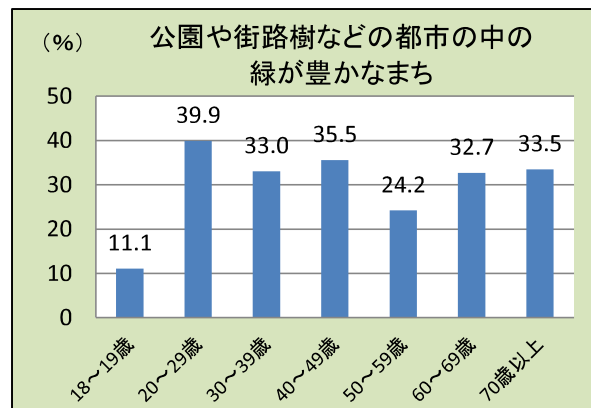
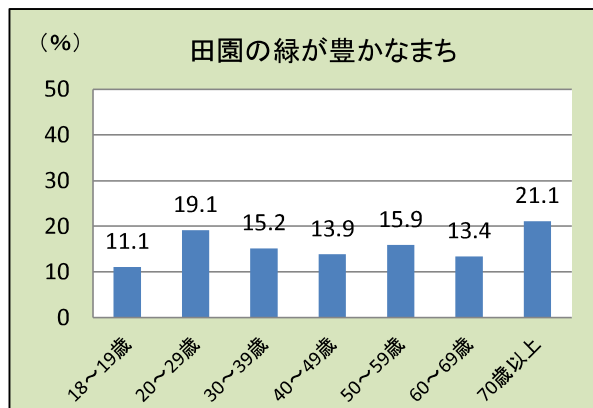
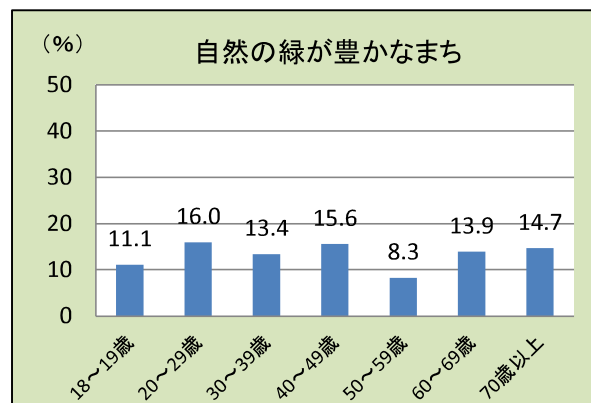
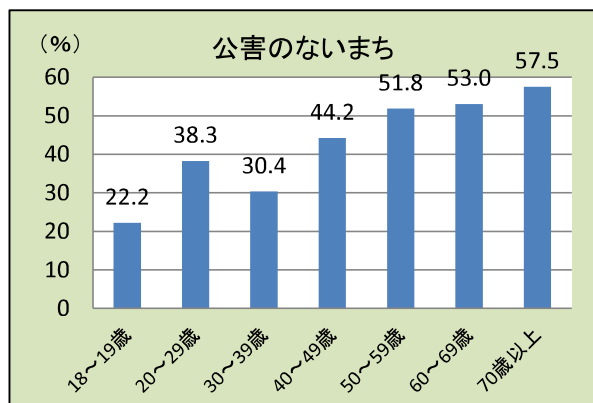
前回質問項目について, 今回調査で2分された設問項目を合計した回答率を参考に異色グラフとして記載した。

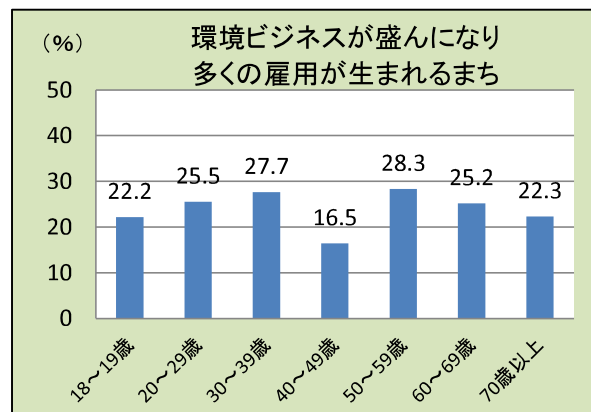
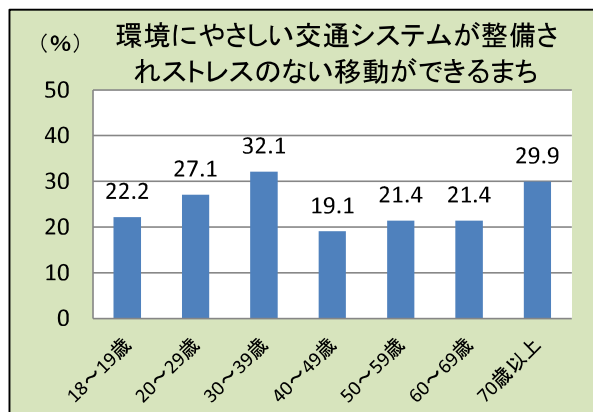
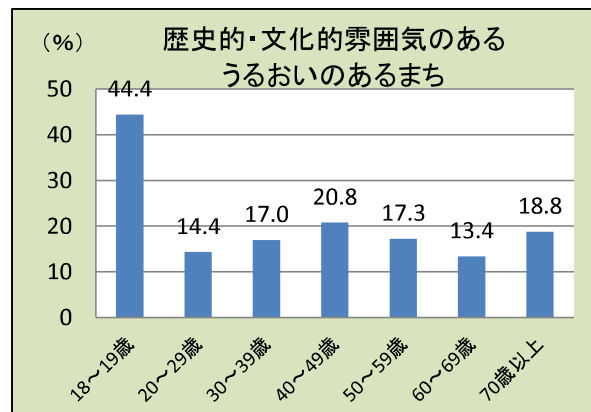
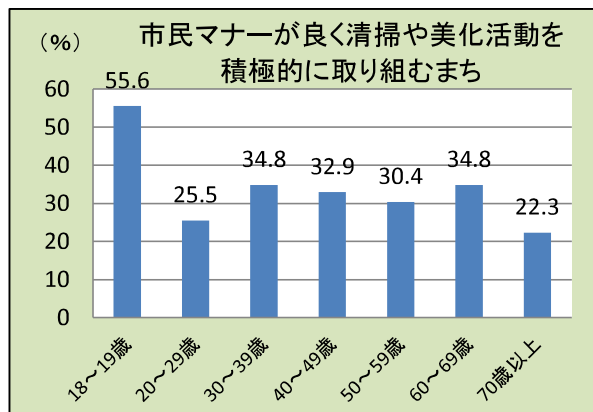
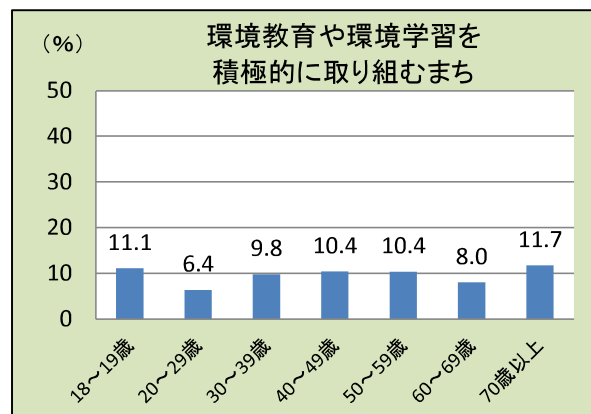
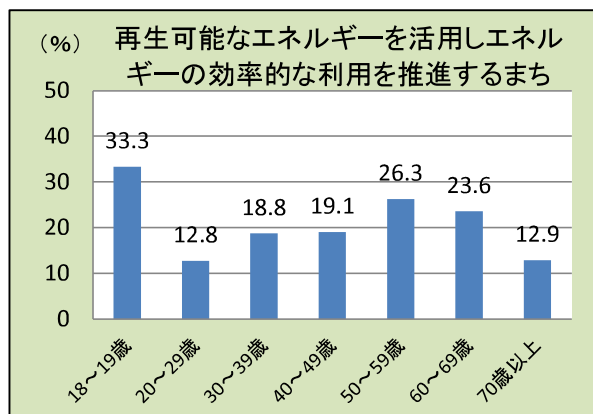
問11 将来の望ましい新潟市の環境像(区別比較)(N=813)





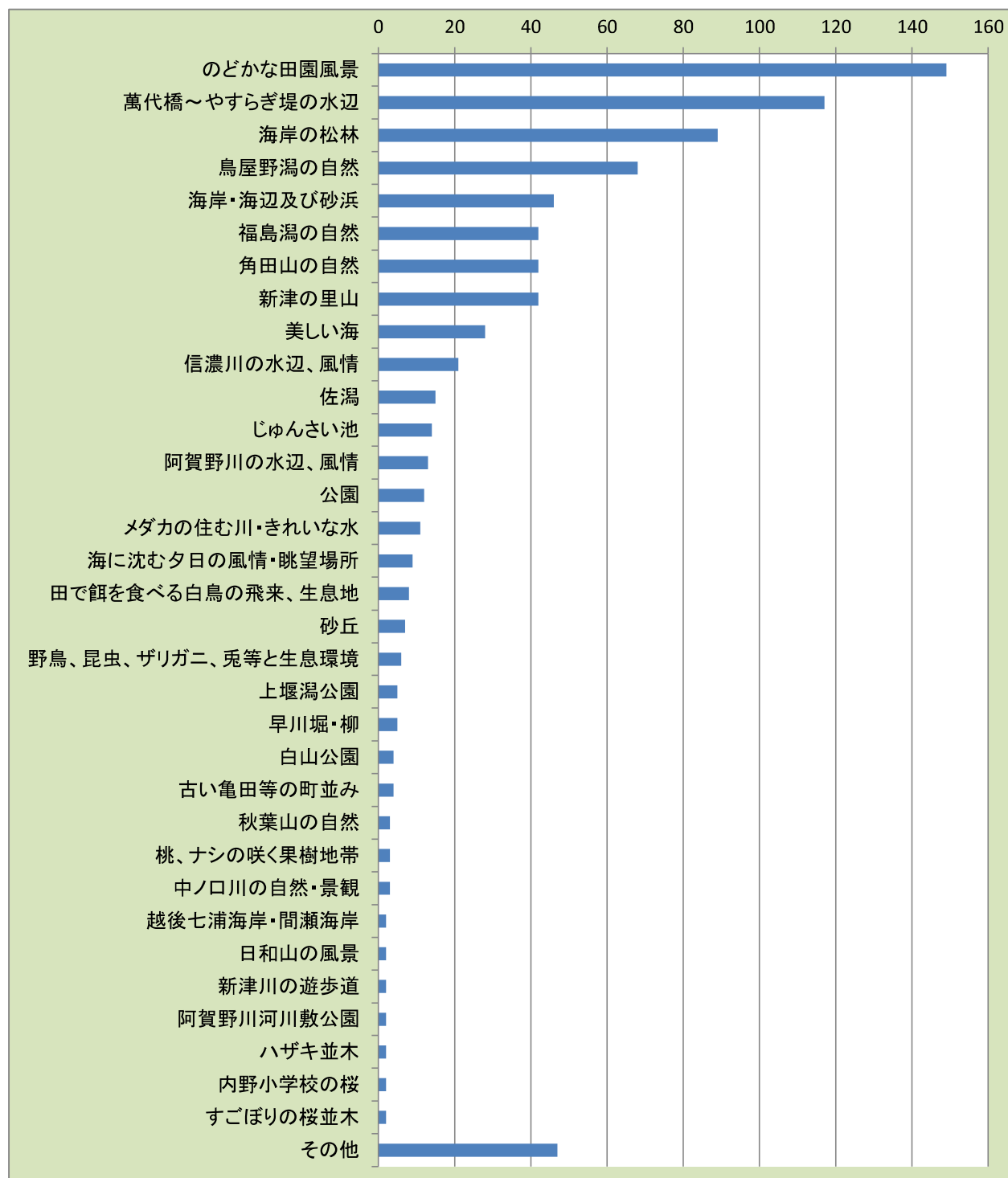
問11 将来の望ましい新潟市の環境像(年齢別比較)(N=801)





問11 将来の望ましい新潟市の環境像 その他意見

- ・多額の予算を投資してBRTは絶対失敗すると思う別の方法を
- ・地元中小企業にやさしい町
- ・従来のものを十分にメンテナンスを行い経済的かつ美化を行う都市
- ・鳥屋野潟の桜
- ・原発ほぼゼロの自然エネルギー推進の町
- ・保安が良く、安全で安心して住める町
- ・原発を必要としない節電のまち、平和を主張するまち
- ・新潟駅とその周辺の大発展
- ・雨が多いので、雨が降っても快適に過ごせる街
- ・害虫のいない町
- ・BRT導入について、必要ない
- ・田畑が多く荒涼としている、田畑がぎっちりつくられすぎ、空間に樹木を植え地吹雪の発生を防ぐべき
- ・環境ビジネスの無駄使いをせず交通体系を考えてください。新しいバスは絶対ダメ
- ・子どもが安心して外で遊べる安全な町



その他の内訳

- ・ニセアカシア林
- ・どん山
- ・ケヤキ通りのライトアップ
- ・能代川水辺
- ・新川遊歩道
- ・西川の水辺
- ・通船川の散歩道
- ・海岸の遊歩道
- ・芸術文化会館
- ・おいしい水道水
- ・新潟の食文化
- ・釣り文化
- ・矢代田の本地の蜚
- ・亀田公園
- ・寺尾中央公園
- ・栗の木川
- ・十二潟の自然
- ・海浜公園
- ・弥彦山の自然
- ・トキメッセの展望台
- ・トキ
- ・山ノ下海浜公園
- ・カルチャセンターの桜並木
- ・新潟駅南の銀杏並木
- ・新井郷川の水辺
- ・北山の池
- ・白玉の滝
- ・岩室温泉の蜚の住む自然
- ・西港風景、風情
- ・萬代橋より左岸
- ・寺尾公園
- ・濁川公園
- ・旧新潟遊園
- ・青山水道公園
- ・鐘木公園の自然
- ・新津石油の里
- ・旧鏡橋のケヤキ道路
- ・関屋分水の桜
- ・鶯野木大通川の鮎の釣り場
- ・魚釣り場(東港堤防)
- ・高森の大櫟
- ・信濃川の浄水場の蜚の飛翔
- ・下町の堀
- ・早川堀等

Ⅲ 前回調査結果との比較等

区分	今回と前回の変化
問5 環境への満足度	上位3位のうち、緑の豊かさが4位に後退し、前回5位の町の清潔さが3位に進出した。下位3位項目は項目としては変化はない。
問7 環境課題への取組	前回上位5位に挙げられなかった大気汚染問題が2位にリストアップされ、前回3位の資源の再利用が6位以下となった。
問8 環境問題にとりくむ主体	取組主体の順位は、行政、企業、市民の順で前回調査の順位、企業、行政、市民の順から、行政主体が一位に位置づけられた。行政、企業とも増加したが、市民が42.5ポイントから41.6ポイントとわずかながら減少した。市民上位、企業上位及び行政上位の環境問題については、変化はなかった。行政上位の環境問題の順位は、前回一位の自然環境の減少・破壊の防止が2位に、前回2位の省エネ・再生可能エネルギーの推進が1位に位置づけられた。
問9 環境保全活動への取組状況	全体的に取り組んでいるとする回答が増加している。減少した活動は、ベランダでの緑を植栽、住まいの周辺の自発的清掃、地域の保全活動の参加等がやや減少しているが、その他の活動はいずれも増加している。特に増加した活動は、買い物袋の持参、ごみの減量化活動で、それぞれ26.4%から72.3%、65.7%から84.5%へと増加した。
問10 環境保全と生活について	大きな変化はなく、無回答が5.1%から7.6%に増加し、その分、環境が悪くなくても生活が便利の方がよいが12.0%から10.8%、環境を良くするためには、生活が不便になってもよいが76%から74.8%とそれぞれ減少した。生活が便利の方がよいとする比率は、70歳未満では若い年代ほど多く、利便を優先する傾向が年代が若いほど強まる傾向が見られた。
問11 望ましい将来の新潟市の環境像	上位3位以内は変化はないが、市民マナーが良く清掃や美化活動を積極的に取り組むまちが、3位から2位に上がり、公園等都市の中の緑が豊かなまちが3位になった。4位は、今回は、環境に優しい交通システムが整備されストレスのない移動ができるまちであった。前は、省資源や省エネルギー、自然エネルギーの有効利用を積極的に受け入れるまちであったが、今回は、この選択肢を省資源、省エネルギーやリサイクルに積極的に取り組むまちと再生可能なエネルギーを活用しエネルギーの効率的な利用を推進するまちに分割したため、合わせた数値で見ると上位2位に位置づけられた。公害のないまちを基本とし、市民マナーや省エネ・省資源・再生可能エネルギーをより重視する傾向が窺えた。
問11 望ましい将来の新潟市の環境像(区別比較)	上位項目の公害のないまち、市民マナーが良く清掃や環境美化活動に積極的に取り組むまちについては、区による差異は少ない。一方緑については、都市の緑、田園の緑、自然の緑について区別の特徴が顕著に見られた。それぞれ区の特長、特徴を生かした環境像を望んでいることが窺えた。
問11 望ましい将来の新潟市の環境像(年代別比較)	公害のないまちを望む比率は各年代との上位を占めるが、年代が低いほど望む比率は低下する傾向が見られた。一方水遊びができる水辺環境を望む比率は、年代が若いほど高くなる傾向が見られた。また、18～19歳代は回答数が少ないが、歴史的・文化的な雰囲気のあるまちを第2位に再生可能なエネルギーを活用するまち、水遊びができる水辺環境を3位に挙げるなど、他年代とは異なる傾向が見られた。
問12 将来に残したい環境	前回上位に挙げられた環境は全て今回も上位項目に挙げられた。将来に残したい環境が数多く挙げられ、身近な環境を引き継ぎたいという思いが強いことが窺えた。